いながわっこつうしん

いながわっ子通信

水辺の安全講習
猪名川町立大島小学校

−Vol.16− 2026.9

9/24(木)に猪名川河川レンジャーが大島であい公園近くの猪名川で水辺の安全講習を行い、猪名川町立大島小学校の3、4年生に水辺で遊ぶ時の注意点などを学んでいただきました。





水辺のキケン 水辺の安全についてのミニ講義

川の中は、岸からは見えにくい

川の深さや流れの速さは川の外からはわかりにくく、川底のじょうたいなどにより、ふくざつな流れが発生します。川で遊ぶ時には、川底の石で転んだり流されたりしておぼれる危険があるため、常にライフジャケットを着て浮く力をサポートしておくことが重要です。たとえ川に入る予定がなくても、川の近くで遊ぶ時には、水が入ると自動でふくらむ小型のライフジャケットを着ておきましょう。猪名川河川レンジャーが水辺で気をつけるポイントなどを説明し、ライフジャケットの正しい着用方法のお手本を見せたあと、児童のみなさんには、実際に自分でライフジャケットを身につけていただきました。







ライフジャケットは自分に合ったサイズを選んでください。

水辺体験 川での事故をふせぐ



ライフジャケットを着たあとは猪名川に入り、川底のすべりやすさや水の流れの強さを実感していただきました。万が一、川に流された時には、立たずに浮くことが大切です。流された時の正しい浮き方や救命ロープを使った救助の受け方といった自分の身を守るために必要な基本的な動作を川の中で確認しました。その後はミニ講義をした場所にもどり、水辺の安全講習のまとめとして、クイズを交えながら川の中の危険な場所の特ちょうやライフジャケットの重要性をふり返りました。



一部を紹介します! みんなの声

- もしおぼれてしまったときに、浮かぶ道具にしがみつくのが初めてだったら、浮かびやすいしがみつき方を知らなかったしうまく浮かばなかったと思います。
- 水があぶないことを知ったし、流れが速い日や雨がふっている時には、川に入らない方がいいことも分かった。
- これからも安全に気をつけて、川や海で遊ぼうと思いました。

児童のみなさんは学校の授業で川に入った経験があり、今回の水辺の安全講習を通して安全意識をより高めたようすでした。

自然である川には100%安全だと言える場所はありません。川を楽しむ気持ちと川の事故をふせぐための準備を忘れずに、これからも猪名川で元気いっぱいに遊んでください。



猪名川河川レンジャー
お問い合わせ
http://www.iranger.jp
info@iranger.jp
webサイト facebook
情報発信中!